

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	オーウイル株式会社
【英訳名】	O'will Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小口 英器
【本店の所在の場所】	東京都港区北青山一丁目2番3号
【電話番号】	(03)5772-4488(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 管理本部長 粟野 恵介
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山一丁目2番3号
【電話番号】	(03)5772-4488(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 管理本部長 粟野 恵介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期連結 累計期間	第29期 第2四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	14,571,143	14,863,710	27,084,504
経常利益 (千円)	257,611	189,491	322,474
四半期(当期)純利益 (千円)	153,149	110,027	165,852
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	156,139	139,143	174,177
純資産額 (千円)	1,696,096	1,830,967	1,714,100
総資産額 (千円)	7,294,479	8,578,272	7,780,804
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	48.62	34.93	52.65
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	23.3	20.4	22.0
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	225,262	181,597	215,572
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	101,587	66,037	175,848
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	70,858	489,479	124,286
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	848,757	1,407,165	987,946

回次	第28期 第2四半期連結 会計期間	第29期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	26.54	21.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、第1四半期連結会計期間より、従来は非連結子会社であったJ.S.O'will, Inc.を、重要性が増加したために連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に株価の上昇や円安基調が進み、企業収益の改善がみられる等、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界経済の景気減速や輸入品価格の上昇による個人消費の落ち込み等の下振れ懸念材料もあることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、国内市場の縮小化や食品原材料の高騰により企業収益が低迷する中、商品ライフサイクルの短期化及び消費の二極化は一層進んでおり、各企業は熾烈な開発競争を繰り広げている状況にあります。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安定的な原材料・資材の供給体制を維持するとともに、新規商品の積極提案、新規取引先の開拓等による拡販に努めてまいりました。また、第1四半期会計期間よりJ.S.O'will, Inc.を連結範囲に含めており、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,863,710千円（前年同期比2.0%増）となりました。平成25年11月に実施した基幹システムの新規導入に伴う減価償却費計上額や平成25年10月に開店したFC店舗に係る支払手数料等の販売管理費が増加し、営業利益は204,575千円（前年同期比10.6%減）、経常利益は189,491千円（前年同期比26.4%減）、四半期純利益は110,027千円（前年同期比28.2%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、消費税増税による消費減退を回避すべく既存商品のリニューアルや新商品を相次ぎ投入しましたが、夏場の天候不順、とりわけ台風・豪雨の打撃を受けた西日本エリアでの販売不振もあり、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先のニーズに柔軟に対応すべく、国内外から原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努める一方、品質管理体制のより一層の強化を図り、付加価値の高い商品の提供及びサービスの向上に努めてまいりました。ビタミン類や業務用殺菌乳の販売数量が減少したものの、香料等の食品副原料、ジャスミン茶や果汁・ピューレ類等の農産物及び同加工品の販売が好調に推移したことから、売上高は14,396,608千円（前年同期比1.4%増）となりました。

<製造販売事業>

安心且つ安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面をより一層強化し、取引先に安心して生産委託していただけるよう、製造環境の整備に注力いたしました。また、新商品開発を積極的に行い拡販に努めた結果、売上高は321,763千円（前年同期比15.0%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、平成25年10月に1店舗を新規出店し、合計5店舗となったことから、売上高は481,370千円（前年同期比14.2%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ824,720千円増加し、7,498,161千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ27,253千円減少し、1,080,111千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて797,467千円増加し、8,578,272千円となりました。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ249,766千円増加し、5,536,652千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ430,833千円増加し、1,210,652千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べ680,600千円増加し、6,747,305千円となりました。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ116,867千円増加し、1,830,967千円となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ419,218千円増加し、1,407,165千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果減少した資金は、181,597千円（前年同期は225,262千円の減少）となりました。これは主に売上債権、及び法人税の支払額の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は、66,037千円（前年同期は101,587千円の減少）となりました。これは主に固定資産取得の支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果増加した資金は、489,479千円（前年同期は70,858千円の減少）となりました。これは主に長期借入金の収入によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,150,000	3,150,000	東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ り、単元株式数は100 株であります。
計	3,150,000	3,150,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	3,150,000	-	363,387	-	288,387

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社ピアンナ	東京都千代田区大手町一丁目6番1号	910,000	28.89
グリーンコア株式会社	東京都渋谷区富ヶ谷一丁目14番9号	300,000	9.52
オーウイル従業員持株会	東京都港区北青山一丁目2番3号	121,700	3.86
株式会社伊藤園	東京都渋谷区本町三丁目47番10号	90,000	2.86
小口 英器	東京都港区	90,000	2.86
大野 新司	東京都北区	57,000	1.81
青柿 年英	千葉県柏市	50,000	1.59
加賀電子株式会社	東京都千代田区神田松永町20	44,000	1.40
山口 順一	神奈川県相模原市中央区	37,000	1.17
小口 八穂子	東京都港区	36,500	1.16
計	-	1,736,200	55.12

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,148,800	31,488	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	3,150,000	-	-
総株主の議決権	-	31,488	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
オーウイル株	東京都港区北青山一丁目 2番3号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,946	1,407,165
受取手形及び売掛金	3,533,173	3,976,506
商品及び製品	900,042	1,181,258
未着商品	852,341	335,405
原材料及び貯蔵品	18,076	18,755
未収入金	322,287	348,015
繰延税金資産	22,359	28,872
その他	41,913	207,081
貸倒引当金	4,700	4,900
流動資産合計	6,673,440	7,498,161
固定資産		
有形固定資産	348,213	355,193
無形固定資産	119,376	107,142
投資その他の資産	639,774	617,775
固定資産合計	1,107,364	1,080,111
資産合計	7,780,804	8,578,272
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,727,650	4,155,918
1年内返済予定の長期借入金	302,240	489,511
未払金	1,073,850	634,153
未払法人税等	88,244	65,024
賞与引当金	35,496	42,856
その他	59,403	149,188
流動負債合計	5,286,886	5,536,652
固定負債		
長期借入金	713,267	1,138,038
資産除去債務	5,946	5,995
その他	60,605	66,618
固定負債合計	779,818	1,210,652
負債合計	6,066,704	6,747,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,011,435	1,024,634
自己株式	105	105
株主資本合計	1,663,105	1,676,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,576	47,008
繰延ヘッジ損益	2,605	2,899
為替換算調整勘定	8,812	27,397
その他の包括利益累計額合計	50,994	77,305
少数株主持分	-	77,357
純資産合計	1,714,100	1,830,967
負債純資産合計	7,780,804	8,578,272

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,571,143	14,863,710
売上原価	13,295,312	13,543,169
売上総利益	1,275,830	1,320,540
販売費及び一般管理費	1,047,036	1,115,965
営業利益	228,793	204,575
営業外収益		
受取配当金	3,104	3,548
為替差益	19,554	-
受取手数料	3,314	3,222
受取補償金	6,674	1,321
保険解約返戻金	3,200	-
その他	1,275	995
営業外収益合計	37,123	9,087
営業外費用		
支払利息	6,242	6,715
為替差損	-	12,084
支払補償費	1,747	4,562
その他	315	808
営業外費用合計	8,305	24,170
経常利益	257,611	189,491
税金等調整前四半期純利益	257,611	189,491
法人税、住民税及び事業税	112,781	73,064
法人税等調整額	8,319	2,089
法人税等合計	104,461	70,975
少数株主損益調整前四半期純利益	153,149	118,516
少数株主利益	-	8,489
四半期純利益	153,149	110,027

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153,149	118,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,630	7,431
繰延ヘッジ損益	4,701	294
為替換算調整勘定	1,061	12,901
その他の包括利益合計	2,990	20,626
四半期包括利益	156,139	139,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,139	125,782
少数株主に係る四半期包括利益	-	13,360

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	257,611	189,491
減価償却費	20,143	34,315
貸倒引当金の増減額(は減少)	50	200
賞与引当金の増減額(は減少)	5,970	7,360
受取利息及び受取配当金	3,242	3,596
支払利息	6,242	6,715
為替差損益(は益)	7,649	4,686
売上債権の増減額(は増加)	670,836	361,194
たな卸資産の増減額(は増加)	47,160	251,294
未収入金の増減額(は増加)	179,498	25,728
前渡金の増減額(は増加)	19,081	160,488
仕入債務の増減額(は減少)	955,161	360,655
未払金の増減額(は減少)	72,188	447,989
未払消費税等の増減額(は減少)	4,663	26,457
前受金の増減額(は減少)	423	56,378
その他	16,128	112
小計	201,786	70,927
利息及び配当金の受取額	3,361	3,596
利息の支払額	6,273	6,903
法人税等の支払額	20,563	107,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,262	181,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	13,063	13,053
無形固定資産の取得による支出	54,896	950
投資有価証券の取得による支出	34,112	-
ゴルフ会員権の取得による支出	-	52,000
貸付金の回収による収入	813	-
差入保証金の差入による支出	-	234
差入保証金の回収による収入	360	200
その他	689	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	101,587	66,037

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	800,000
長期借入金の返済による支出	124,728	192,275
リース債務の返済による支出	2,216	2,711
配当金の支払額	93,913	93,692
少数株主への配当金の支払額	-	21,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,858	489,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,942	10,826
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	389,765	252,671
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,523	987,946
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	166,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	848,757	1,407,165

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、従来は非連結子会社であったJ.S.O'will, Inc.を、重要性が増加したために連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
投資その他の資産	9,900千円	9,900千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
賃金給料及び諸手当	385,508千円	421,260千円
賞与引当金繰入額	43,239	42,856
運賃	228,060	217,082

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	848,757千円	1,407,165千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	848,757	1,407,165

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	94,495	30	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	94,494	30	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,065,222	84,378	14,149,601	421,541	14,571,143	-	14,571,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129,106	195,418	324,525	-	324,525	324,525	-
計	14,194,329	279,797	14,474,126	421,541	14,895,668	324,525	14,571,143
セグメント利益	206,521	16,863	223,384	3,480	226,865	1,928	228,793

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,928千円は、セグメント間取引消去1,928千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,260,790	121,549	14,382,340	481,370	14,863,710	-	14,863,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,817	200,214	336,031	-	336,031	336,031	-
計	14,396,608	321,763	14,718,371	481,370	15,199,742	336,031	14,863,710
セグメント利益又は損 失()	189,523	16,404	205,928	4,493	201,434	3,140	204,575

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額3,140千円は、セグメント間取引消去3,140千円であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	48円62銭	34円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	153,149	110,027
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	153,149	110,027
普通株式の期中平均株式数(株)	3,149,864	3,149,820

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

オーウイル株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊藤 文男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋田 英明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーウイル株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーウイル株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。